

令和2年9月定例教育委員会会議録

1. 日 時 令和2年9月17日（木）午後2時40分～午後4時10分
2. 場 所 市立公民館3階 講座室4
3. 出席者
教育長 大下 達哉 教育長職務代理者 植原 和彦 委 員 谷口 馨
委 員 野口 和江
4. 事務局出席者
教育総務部長 藤浪 秀樹／学校教育部長 和泉 全史／生涯学習部長 牟田 親也
総務課長 高井 哲也／学校適正配置推進課長 池内 正彰
学校給食課長 井出 英明／学校管理課管理担当長 大山 茂樹
産業高校学務課長 樋口 泰城／学校教育課長 倉垣 裕行
人権教育課長 八幡 泰輔／生涯学習課長 寺本 隆二
スポーツ振興課長 庄司 彰義／郷土文化課長 西村 久美子／図書館長 橋本 純
総務課参事 松本 秀規／総務課参事 井上 慎二

開会 午後2時40分

前回会議録について承認された。本会議録署名者に谷口委員を指名した。
傍聴人0名。

○大下教育長

ただいまから、9月定例教育委員会会議を開催します。

報告に入る前に、非公開の決定ですが、本日の案件のうち、議案第62号は、本日協議した後、政策調整会議を経て、政策決定会議で決定するものであり、岸和田市情報公開条例第8条第2項第2号に規定する公開しないことができる意思決定過程の行政文書に該当すること、また議案第63号は人事案件のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定により非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(教育委員 賛同)

非公開への賛同がございましたので、そのように取り扱います。

報告第 42 号 岸和田市立小学校へのマスクの寄贈について

○大下教育長

報告第 42 号について、説明をお願いします。

○高井総務課長

報告第 42 号につきましては、岸和田市立小学校へのマスクの寄贈についてです。

マスクを10,300枚寄贈していただきました。目的につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、寄贈者は岸和田ライオンズクラブ会長小倉様より令和2年8月31日に頂戴しています。

実際に各学校へは9月2日に岸和田ライオンズクラブの役員さんや関係者に配達していただいています。特に会長の地元の朝陽小学校では、贈呈式を行い児童の代表に直接手渡しました。またその模様はテレビ岸和田で放送されました。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

児童一人に一枚は配布されたのですか。

○高井総務課長

はい、一人一枚はあります。

○大下教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 43 号 市民公開講座「エクセル関数ステップアップ講座」の実施について

○大下教育長

報告第 43 ページ号について、説明をお願いします。

○樋口産業高校学務課長

報告第 43 号につきましては、市民公開講座「エクセル関数ステップアップ講座」の実施についてです。

概要ですが、対象者はエクセルでマウスの操作と簡単な文章入力ができる市内在住・在勤者で、学生は除きます。日時は、11月4日(水)、6日(金)、9日(月)、11日(水)、13日(金)の全5回で午後6時から7時半です。場所は、岸和田市立産業高等学校。定員は20名で申し込み多数の場合は抽選させていただきます。実習費として2,000円。講師は岸和田市立産業高等学校教諭です。申し込みは往復はがきによるもので、10月16日(金)必着となっています。周知につきましては、「広報きしわだ」10月号と市ホームページに掲載します。その他のところには過去の申込者数、次のページには過去の年代別の申込者数を載せています。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○野口委員

エクセルはワードよりも希望者が多いとこの数を見て思いました。申込者が昨年度 24 名となっていますが、20 名を超えても大丈夫ですか。

○樋口産業高校学務課長

受講者数は 20 名までとさせていただいておりますので抽選しています。

○大下教育長

準備をしている教員の対応できる人数が 20 名が限界なので、数で切るようで大変申し訳ありませんが 20 名を超えた場合は抽選で 20 名に絞らざるを得ないというのが実態ですね。

○樋口産業高校学務課長

その通りです。

○大下教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第 44 号 自然資料館特別展の第 6 回日本展示学会賞受賞について

○大下教育長

報告第 44 号について、説明をお願いします。

○西村郷土文化課長

報告第 44 号につきましては、自然資料館特別展の第 6 回日本展示学会賞受賞についてです。

まず、日本展示学会がどういうものかについて説明させていただきます。

日本展示学会とは1980年代に全国各地で博物館・美術館をはじめとする展示施設が次々に設立されました。その中で、展示に対する考え方が、従来の単に「陳列」という概念から大きく変化し、「総合的なコミュニケーション・メディア」とあるという視点に立った研究が必要となり、1982年に設立されたものです。現在の会員数は約500名です。

次に日本展示学会賞についてですが、展示作品のなかで社会的・文化的見地からも極めて高い水準が認められ、芸術・技術の総合的発展に寄与する、優れた展示について3年ごとに顕彰し受賞するという賞です。

今回、この名誉ある賞を当自然資料館が受賞しました。展示物は、当自然資料館が平成28年12月23日から平成29年2月19日まで、特別展として開催した「ホネホネルーム」での展示です。3年ほど前となりますので実際には見ていただくことはできませんが、当時のチラシを配布させていただいています。「きしわだホネホネルーム ようこそ！骨とはくせいの部屋へ」というテーマで「骨とはくせいを比べてみよう！」などの趣旨を含め開催された企画展でした。受賞概要は別紙をご覧ください。対象期間は2016年1月1日から2019年12月31日までです。応募数は200点以上です。論文賞、作品賞、功労賞とありましてその後、日本展示学会賞というのが今回の賞になります。受賞数は16点で、東日本大震災津波伝承館、国立歴史民俗博物館、以下14施設が受賞しています。当資料館の受賞理由ですが、まず、近隣自治体の博物館が所蔵する骨格標本と比較することで岸和田の多様な自然環境を理解するきっかけとなった展示であること、また岸和田市民から

寄贈された標本も多く地域住民とのつながりを構築できた展示であること、さらに、NPO法人与当資料館の学芸員の協働により、計画から広報・デザイン・設計・施工に至るまで一貫して取り組んだ方法が、今後の博物館の活動の方向性を示すものとして大きく評価できる展示であったということでした。様々な機関や様々な人たちとの連携・協力を評価いただけたものだと思います。大変喜ばしいことであり今後も今以上に興味を持っていただけるよう取り組んでまいりたいと考えています。

授賞式は9月21日トヨタ博物館での予定でしたが、WEB形式となってしまいました。周知方法は自然資料館ホームページに掲載する予定です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

大変素晴らしい賞の受賞おめでとうございます。教育委員会の人間として誇りに思います。この機会にもう一度「ホネホネルーム」を受賞記念でリバイバルするといった計画は無いのでしょうか。できましたら私も観ていませんでしたので、またご検討をお願いしたいと思います。

○西村郷土文化課長

近隣からいろいろと借りているものもありますので一度相談して検討します。

○野口委員

長い間はく製が展示されているので岸和田市民にとっては当たり前を感じるものだと思うのですが、今年の夏に私の孫がはく製に触れて感動して帰ってきました。本当に岸和田の宝だと思いますので、大事にしていきたいものだと思っています。おめでとうございます。

○西村郷土文化課長

いろいろなところでこれからも周知できればと思っています。

○大下教育長

ほかにはいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第45号 企画展「第24回ネイチャーフォト写真展」の開催について

○大下教育長

報告第45号について、説明をお願いします。

○西村郷土文化課長

報告第45号につきましては、企画展「第24回ネイチャーフォト写真展」の開催についてです。展示名は、ギャラリー展示「第24回ネイチャーフォト写真展」です。会期は令和2年9月13日（日）から10月3日（土）までと既に始まっております。会場はきしわだ自然資料館1階ホールです。

趣旨は、写真によって身近な自然の魅力に気づくきっかけを提供し、その背後にある生物学や生物の多様性、さらには写真撮影、自然資料館への関心を高めることにつなげることです。

主な展示資料は、自然資料館の開館当初より活動している写真サークル「クローズアップ岸和

田」の会員が撮影した身近な自然写真約40点です。

ここで「クローズアップ岸和田」がどういうサークルなのかをご紹介します。クローズアップ岸和田とは、自然資料館の開館当初、独自のイベントがそれほど実施できていなかった時に、アドバイザーの立場で関わってくださっていた方が自然の写真撮影に詳しく主催行事として自然に対する連続写真講座を2年ほど開催していただきました。その後、その講座への参加者の方がさらに活動を深めたいと独自にサークルを立ち上げ、その成果を学芸員の協力のもと、自然資料館で毎年展示するようになりました。今年で24回目となります。企画展また自然への関心を高めていただいているかと思っています。昨年度は1,500人ほど入場いただきました。

ちなみに本日配布させていただいているカラーの資料ですが、この花はシュウカイドウと言ってバラ科の海棠に似た花を秋に咲かせることからこの名がついたそうです。写真展では「木漏れ日」というテーマで展示されています。日本各地で見られる花だそうで岸和田でも中央公園などの公園や庭などいろいろな所で見られるそうです。皆さんも探してみてください。

周知方法ですが、掲載済みですが「広報きしわだ」9月号、ホームページへの掲載です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第46号 寄附の受領について

○大下教育長

報告第46号について、説明をお願いします。

○橋本図書館長

報告第46号につきましては、寄附の受領についてです。

去る8月27日にご寄附をいただきましたので、ご報告いたします。ご寄附をいただきましたのは、泉大津市在住の一個人の方で、現金3万円をいただきました。

なお、使い道としては、図書館で活用いただきたいとおっしゃるだけで、特に図書購入などに限定されておりません。活用方法については今後、検討してまいります。

ご寄附の経緯ですが、この方は現在50歳代とのことで、子どもころ岸和田にお住まいで、自動車文庫をご利用になっていたとのことで、今回寄附したいとお申し出を頂戴しました。お気持ちに甘えて寄附をお受けしたものです。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告第47号 市立学校園への寄贈について

○大下教育長

報告第47号について、説明をお願いします。

○大山学校管理課管理担当長

報告第 47 号につきましては、市立学校園への寄贈についてです。

一つ目はマスク 42,000 枚を寄贈していただきました。換算額は不明です。寄贈目的は学校園の感染症対策のためで、寄贈者は泉南市在住の松崎様です。寄贈年月日は令和 2 年 8 月 14 日です。

二つ目ですが、UV フェースカバー 3,000 枚を寄贈していただきました。換算額は不明です。寄贈目的は教育現場の熱中症対策のためで、寄贈者は本市在住の河野様です。寄贈年月日は令和 2 年 8 月 25 日です。

○大下教育長

説明が終わりました。本件について、何かご意見、ご質問はございませんでしょうか。

○谷口委員

配布はどのようにしましたか。

○大山学校管理課管理担当長

マスクは学校の児童生徒数に合わせて小中学校、幼稚園と産業高校に配布しました。フェースカバーは希望数を調査し配布します。

○野口委員

フェースカバーも児童生徒用ですか。

○大山学校管理課管理担当長

フェースカバーは児童生徒にはかなり大きいので、学校の教職員用です。

○藤浪教育総務部長

総務課が報告したマスクは児童一人に一枚お配りしましたが、こちらの 42,000 枚については一人 3 枚程度になるのですが、個人にお渡しせず学校でストックして、今後の利用や今現在、忘れてたり汚れたりした場合に活用していただきたいということで学校に配っています。

○大下教育長

ほかにいかがでしょうか。ないようですので、報告として承りました。

報告は以上ですが、他に何かありませんか。ないようですので、議案の審議に移ります。

議案第 62 号 岸和田市立公民館及び青少年会館再編基本方針（案）について

議案第 63 号 教職員人事について

○大下教育長

本日の議案はすべて、非公開の案件です。関係者以外は退席願います。

(非公開議案 2 件について審議され、承認された。)

○大下教育長

以上で、本日の定例教育委員会会議を閉会します。

閉会 午後4時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

教育長

署名委員